

月報	日本キリスト教改革派	2010年12月12日
	横浜中央教会	12月号

クリスマスに歌う歌

I.K

クリスマス・シーズンに、教会などでの子どもの集まりに招かれた時 JC コーナーストーンでよく歌う曲につきのような歌詞のものがああります。

♪クリスマスに、海くんが欲しいものは、←海くんちよっと名前貸してね
ケンタの子キンに Will か DS♪
約束するよ。勉強もするよ。だからお願いだよママ！♪
♪でも、ほんとうのクリスマスの話しはちょっと悲しい話なのさ
死めために生まれてきた男の子の話なのさ～♪
SILENT NIGHT！ HOLY NIGHT！♪

アップテンポの明るい曲で、前半部分はその場の子どもに名前と欲しいものを聞いて即興で歌うので子どもたちはいつも大喜びです。兄のオリジナル曲ですが、僕は後半の歌詞がシンプルで、とても好きです。イエス・キリストという至高の聖さを持った方の死を贈っていただくことでしか許されなかった自分の罪のことや、死んで黄泉に下ることの恐ろしさを他の誰よりも知っている神ご自身が、愛するひとり子をそこへ送るために地上に遣わされたことを覚える時、「あの夜はほんとうに HOLY NIGHT だったのだ」と思えるからです。

JC コーナーストーンには、マリアの夫、ヨセフの気持ちを歌った「ヨセフの歌」というオリジナル曲もあります。やはりあの夜のヨセフの気持ちを歌った曲ですが、こちらは、父親となるヨセフの気持ちをストレートに表現して、天使の賛美がそれをサポートするようなアレンジになっていてとても良い曲です。こちらは、2枚目の CD に入っていますので、是非聴いてみたいという方は声をおかけください。クリスマスプレゼントとして差し上げます！

クリスマス

K.K

我が家の庭のクリスマスホーリ（ひいらぎ）の実が今年も赤くなってきました。デパートでは華やかな飾り付けや音楽などでクリスマス気分を盛りあげています。実は私はデパート大好き人間なのです。入場料も取らずに私をワクワクさせてくれる場所だからです。私にとってはテーマパークみたいな所ともいえます。

私の育った家はネクタイの布を織る工場をささやかに営んでいました。我が家で織られた布がネクタイとなり日本橋の三越などのガラスケースのなかで売られていました。父にとりそれは自慢であり時々見に出かけていました。私たち子供も母に連れられ時々見に行ったものでした。苦労も多く楽しみも少なかった母にとり都心に出かけることは楽しいことだったのでしょう。

パソコンに向かいながら父母を懐かしく思い出しています。子供の頃の経験は大人になっても影響のあるものだとつくづく思います。母のデパート好きが私に受け継がれました私の娘がデパート好きなのです。話が思い出の横道に入ってしまった。

ある年のクリスマスの頃でした。私はいつものようにデパートのクリスマス用品に目を奪われていました。でもその年はちょっと違ったのです。なにか虚しさを感じたのです。自分は今クリスマスの外側にいるのではないか。信仰のないクリスマスなんて軽薄なのではないか。心の中で何かが騒いでいました。でもそんな気持ちが教会へと結びつくのには随分と時間がかかりました。そしていろいろなことが有り現在に至っています。

わたしがクリスマスシーズンになると思い出す出来事です。晴れやかな気持ちでクリスマスを迎えられる事は嬉しいことです。何かクリスマスを楽しむ為にキリスト教徒になったみたいですが、それだけではありません。念のため。終わりに私から皆さんへクリスマスプレゼントです。

ブライアン モーガン作（クリスマスの祈り）からの一部です。

君のために信仰を祈ろう。
ゆるがぬたしかな信仰を。
信仰は人としての生き方と
生きる目的をかたちづくり
人を神に近づける。

ホームページは教会の玄関口

H.S

みなさんは、「ポータルサイト」という言葉をご存じですか。インターネットで何かを調べたい時、どこかのホームページを見たい時、そのサイト（ホームページ）に行けば、それを調べられたり該当のページに即座に行くことができる…。そのような便利なホームページのことを言います。「Google」「Yahoo!」などが有名ですね。

次に、横浜中央教会のホームページ（以下、HP）の存在はご存じですか？ インターネットに接続できる方は、前述のポータルサイト（Google など）を開き、「横浜中央教会」で検索してみてください（もちろん、HP アドレス：<http://yokochu.seesaa.net/> を入力してもアクセスすることができます）。その内容としては、牧師あいさつ 礼拝案内 集会案内 教会行事 教会アルバム（教会の行事写真を、月1回程度掲載しています） 論壇 週報 月報 などです。皆さんぜひ一度（と言わず何度でも）教会のHP をご覧になってみてください。

私たち夫婦は、このHP の奉仕（新しい記事を更新する作業）をさせていただいています。とても地味な働きです。自宅で、先生や担当者から送られてきた原稿をパソコンに打ち込んでいく作業が主ですので、人目に触れることもありません。けれども、まさに教会の水先案内人とも言えるこの働きが私は好きです。

昨年も、何人かの方がこのHP を見て礼拝にいらっしゃったと聞きました。そんな話を聞くとなんだか嬉しくなりますね。今や、どこかの教会を訪れる前にその教会のHP を見て、どのような教会かを調べるとというのが一般的になっているようです。また、他の改革派の教会の方も、このHP をよく見ているとも聞いています。文字通り、教会のHP は教会の「玄関口 = ポータル」と言えると思います。

そのような意味で、内容の充実が常に必要になってきますね。私たちだけではアイデアは乏しいですが、こんな内容があったらいいなあと言ったご意見をぜひ聞かせていただければ嬉しく思っています。

このHP が、初めて教会の扉を叩く方々の水先案内になるように...、と願いつつ、これからも心を込めて奉仕をさせていただきたいと思っています。

注)プライバシー保護のため、HP に掲載される名前は全てイニシャルにし、消息（住所・電話番号など）は伏字にしています。また、子どもが写っている写真は顔に「ぼかし」を入れています。